

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

↑

デザインイメージ
若手山・チャグチャグ馬コの家・滝の沢

第7号

平成 27 年 7 月 5 日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広聴広報常任委員会

たきざわ市議会だより



市民議会開催

今年は「千支議会」

議会への市民参加の環として5月10日、議場に「千支議会」と題して「市民議会」を開催しました。

今年は、千支である12歳から72歳までの「未ひつじ」年の市民10組15名が、市民議会の議員と

滝沢が有名になつてほしい。
特産品を学校で栽培するなど、チャレンジして身近に感じたい。

滝沢市道路状況がもっと良くなる
いい！滝沢総合公園がたぐんの方に利用しやすい環境になつてほしい。

児童の遊ぶ環境が充実している滝沢市を期待します。
子どもが楽しく遊び、成長する町になれると思う。

安心して子育てをし、生きがいを
持つて生活が出来る
滝沢市が実現できることを期待しています。

滝沢市に変わった
ことで、市ならではの
取り組みを頑張つてほしい。たとえば、
国体に向けてなど。

高年齢者にとって、
やさしい生活環境
づくりを願います。
特に冬の除雪は
大変だと思つて。

姥屋敷を滝沢市の
一大観光地に！
自然豊かな姥屋敷に若い人たちが
集まる機会を！

小中学生に対する
医療助成を充実
させて、暮らしやすい
滝沢市になる
といいです。

学校の校庭に25m
のローラー滑り台を
つくったり、低学年
とたのしく過ごせる
家庭遊具がいっぱい
あるといいな！

終了後に全員で記念撮影

参加者・傍聴者の声

とても議会が身近に感じた。住民自治日本一をめざす滝沢市にとって、今日の企画はこれからも続けてほしい。

思いがけず楽しい時間でした。明るい話題に心が躍りました。議会に興味がありました。子ども達が立派になりました。

ちゃんと自分の意見を言えたのでよかったです。楽しかったし、いい体験になりました。

あまり、緊張しなかった。一生のうちになかなか無い事だったので、いい経験になりました。

子ども達や若い青年たちが政治に関心を持たれていることに感じました。

議会報告会のアンケート紹介

○初めて参加しました。話しやすいテーブル設定であつたし、議員さんもお話でいて良かったので直接お話をできて良かったと思います。

○本質に迫る内容、内容が具体的で、細かいことが議論できたと思います。

○このような機会は折にふれて設けてほしい。本当に生の中身が分かつて良かったです。将来は専門職との言葉が強く残りました。

○参加人数がもっと多ければ良いと思つた。議会にはあまり関心が高かつたが、いろいろ話を聞けて良かった。今回の意見を是非議会に反映してほしい。

○報告会に3回出席いたし、議員の方々から現在の市議会の活動状況を説明していただき、今後も市議会の活動を支援します。

○貴重な機会なのに出席者が少なくて残念。参加者増の工夫を。

○ワークショップ形式は良かったが・・・話が難しかったです。

○提言型議会についての話は、一般人には突然振られても、難しいのではないかと思います。

○参加者が少ない現状をどうとらえるか？時間が短い中テーマを2つというのはなかなか意見を述べるのができない。

各地区から寄せられた「議会で取り上げてほしいこと」				
自治会名	寄せられたご意見			
いずみ菓子ニュータウン	除雪体制の整備検討（遅い、粗末） 一本木バイパスの早期全面開通	柳沢試験場線の歩道の整備 公共交通の便が悪い（少ない）	中学校の統合（クラブ活動の関係で） 菓子駅駐車場が満車で使用できない	滝沢駅からの歩道、街灯がない
滝沢パークタウン	100円バスの検討を	買い物難民対策	通学路の整備（歩道と車道の間にガードレールを）	公共交通の対策を
鵜飼南	除雪体制の整備 生活保護者が良い生活をしている。認定が甘いのでは	公道と私道の条件の差が多い 道徳教育も重点としてほしい	公園整備	福祉バスの運行時間の検討
元村中央 元村東	バスの乗車は旧射撃場の駐車場にしてはどうか 市街化調整区域や農振振興区域の線引きがあるため企業の誘致に繋がらない	交流館前の交差点4方向に右折用矢印信号を設置してほしい 介護施設や保育施設の拡充整備を	東自治会は歩道がない道路が多いため、歩道の整備を 子どもたちの躰指導は、家庭と地域が行うようにできないか	県道16号線が抜け道的に利用され危険になっている 図書館の充実
川南果 前子根	道路側帯の歩道整備 駅近辺に老人ホームを 防災無線が聞き取れない。LED早期交換を 観光物産館で特産品の販売。市として観光拠点の設置	ふるさと交流館は自由に利用できないことが多い。使いやすい各地区集会所の設置、整備 高年齢者への運動器具及び場所設置（現在は遠い場所） 通学路の防犯灯増設	子ども達が遊べる広い公園がほしい ゴミ集積所の不衛生問題。空家問題 地域全体のコミュニティ施設、各自自治会内の集会所	南菓子保育園児受け入れ数増員 自治会が市の下請けになっているのでは
大釜上南 大釜	除雪の方法をもっと考えて ゴミ集積所の整備、アパートの市民の出し方が悪い。不法に利用	道路や歩道の整備（看護短大付近の踏切の交通量増加、スクールゾーンの道幅が狭い）など 防犯無線の整備	駅の改善	田沢湖線みどり団地に駅がほしい
南一本木 北一本木	除雪体制の検討（技術的に難である） 太陽光施設の雨水対策	除雪時のトラクターの貸し出しによる、助成金の支出検討 悪臭の問題が解決していない	一本木柳沢線の通学路の安全対策（歩道） 公民館を作ってもらったが、維持費がかかり大変	一本木バイパスの早期開通 自治会長にも手当を
小岩井	小岩井地区内の道路の拡幅整備を 就学前の保育施設の拡充 私有地のごみ集積場の固定資産税等の減額を	小岩井駅前に商店が少なく、買い物難民化している お山の湯の利用料金の増額反対、現料金で存続を 公民館の建て替えを	公共交通網の確保を（買い物時の足の確保） 墓の後見人が不明なため維持できなくなっている 消防ポンプ車の購入	駅を経由する公共交通網の整備
鵜飼中央	年毛線除雪対策としての防雪ネットの設置を 福祉バスの増便を 防犯灯、街灯の増設を	マイや前の交差点に右折用の矢印信号をつけてほしい 障害者受け入れ施設の拡充を	子どもの安全対策として道路歩道の整備を 市内の病院マップがほしい	南中入り口付近の道路の拡幅を ごみ集積所のカラス対策を
あずみ野	排雪場所が近くにほしい 学童施設がほしい 教育における教師の評価、教え方の向上	道路や通学路の補修整備 救急総合病院がほしい 市役所の支所機能または代替手段	公共交通の充実 環境整備（団地内に通じる道路の法面等の草刈り等）	あすみ野中央公園の遊具を増やしてほしい 交番の設置
篠木沢 篠木	私道の除雪対応策 防犯隊の設置	小学校通学路の確保 伝統文化をもっと広報してほしい	農業の振興、婚活が必要 地域づくり担当者の設置（配置）	放課後児童クラブの設置（大釜駅とは別に）
元村北	除雪の対応が遅い、市道でも来ない 高速道の側道と排水路の整備を 農業後継者作り（若者）の予算の増額を 市としての防災訓練を増やすべき（自主防災組織との連携を密に）	元村集会所前の県道16号の橋の拡幅を 6次産業に対する助成金の増額を 元村落センターが老朽化しているので、集会所施設を作してほしい	ふるさと交流館前の交差点に右折用の矢印信号がほしい 市道の点検と速やかな整備を 火葬場の建設を	称宜屋敷地内「松森木工所」付近の丁字路の改良工事を（歩道改良） 元村北地区の公共交通の運行整備を 行政無線の聴こえ調査を（聴こえないところがある）
滝沢ニュータウン	除雪の改善 チャグチャグ馬コ前夜祭の継続	交通アクセスの検討（市役所に向かって） 農業6次産業化の推進、農産物の加工	道路、歩道の整備 一人暮らしの見守り	ゴミステーションの歩道でもできる工夫、環境整備

※このほかにも多数いただきましたが、ワークショップでの優先順位が高いものを掲載しました。今後議会では、それぞれの課題について、各常任委員会で細かく分析し、市全体の視点も踏まえて調査研究等の対応方針を決定し、お知らせいたします。

今後の議会の予定

7月9日（木）7月議会
8月7日（金）8月議会

滝沢市議会議員選挙のお知らせ

投票日 7月26日（日）
（告示日）7月19日（日）

結びに

今任期、特に後半は、滝沢（村）市議会の歴史上でも大きな変革を迎えた期間でした。
村議会から市議会に移行するとともに、議会基本条例を制定し、通年議会がスタートしました。その後、議会評価や定数と報酬にも一定の方向性を出しました。
今後も、議会活動の目的である市民福祉の向上に寄与するため、提言型議会の実現に努めていかなければならないと考えます。
今までの市民の皆様への議会に対するご理解とご協力に感謝を申し上げます。
滝沢市議会議長 黒沢明夫

議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195 http://www.city.takizawa.iwate.jp/ E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

「たきざわ市議会だより」は古紙配合率70%の再生紙に環境にやさしい環境調和型インキで印刷しています。

必要な議員定数は

今後、更に議会評価の質を高め、より市民に密着した議会活動を行うためには何が必要か、議会の中での議論しています。

「議員定数」については、次のような議論を行いました。

●現在、課題解決に向けた調査研究を行う「常任委員会」の数は3委員会、それぞれ6、7名で構成。

●今後、より高度な議論を行い、複数の調査を同時並行して行うためには、1委員会「7、8名」が必要である。

必要な議員報酬は

議員定数の議論と同時に「議員報酬」についても次のような議論を行いました。

●以前は、議会の会期中である3月、6月、9月、12月を基本として活動してきた。

●変化が激しい時代では、常に議会も対応できる必要があるため

滝沢市議会の現状と課題

「議会フォーラム」と「議会報告会」で、ご意見をいただきました。

市議会では、政策提言型議会の実現をめざす中で、さまざまな改革を進めています。

具体的には市民の声を聞くことを意識した「議会報告会」や「各種懇談会」の開催、**変化に対応**することを意識した「通年議会」の導入、また**論点を明確に**することを意識して、議場での質疑の際に「市当局に反問権を与えました。

これらの取組みを今後継続して実行することをルールとしたものが「議会基本条例」です。

この条例は、議員自らが発議し、市民の皆様とお約束する形としました。

「議員報酬」の適切な額は？

報酬額の検討

①本会議、委員会、議員派遣における議員活動
②協議又は調整の「場」における議員活動
③議会基本条例に規定する活動
④議会選出の公職としての職務
⑤上記①～④に付随する調査研究その他の活動
⑥市主催行事等への参加
⑦市民要望・市民相談に応じる活動
⑧その他の活動

「通年議会」導入後の議会・議員活動の実績から、適切な報酬額を算定。

実績に見合う、適切な報酬額は…
329,000円
【現行：293,000円】

議員の具体的な金額は、全議員のこれまでの活動実績や、今後の議会活動計画から算出しました。

次に、その結果を、市長の報酬額に照らし合わせて精算いたしました。

(図③のとおり)

議員の報酬は、活動量によつて算定した報酬額と、議会評価の結果をみながら、常に市民の意見を踏まえて議論していく必要があります。

議会報告会 -おでんせ会議-

～13会場20自治会で194人が意見を出し合う～

自治会名	開催日	会 場
いずみ菓子ユーク	5月24日	いずみ菓子ユーク集会所
滝沢ハート	5月26日	ハート集会所
鵜飼南	5月27日	鵜飼地区コミュニティセンター
元村中央 元村東	5月28日	滝沢ふるさと交流館
川前 菓子 南菓子 長根	5月28日	滝沢勤労青少年ホーム
大釜上 大釜南	5月29日	大釜地区コミュニティセンター
南一本木 北一本木	5月29日	一本木地区コミュニティセンター
小岩井	5月29日	小岩井地区コミュニティセンター
鵜飼中央	6月1日	下鵜飼集会所
あすみ野	6月1日	あすみ野コミュニティホール
篠木 大沢	6月2日	篠木多目的研修センター
元村北	6月3日	元村集落センター
滝沢ユーク	6月3日	ニューシビックセンター

議会改革を市民とともに考えました

5月24日から6月3日まで、市内13会場で開催した議会報告会を開催しました。

議員が3班編成で各会場を訪問。今年は「おでんせ会議」と銘打って、参加者が気軽に意見を言える雰囲気づくりとして、初めてワークシッ「形式で行いました。

5、6名で1つのテーブルを囲むワークシップでは、「滝沢市議会の現状と課題」の報告に続き、提言型議会や「議員の定数・報酬」について意見交換をしていただきました。寄せられたご意見をしっかりと受け止め、今後の検討に反映させてまいります。

ワークシッップという初めての試みに戸惑いも見られました。今回の反省点を確認し、今後も気軽に意見をいただけるよう努めてまいります。

提言型議会について

○政策について議論し、しっかりと対案を出せる議会に。賛否だけではだめ。

○さまざまな団体に足を運び、多様な声を吸い上げ、提言に反映してほしい。

○提言型議会に賛成。そのためには議員の専門化を。

○議会は、提言型でなくても良い。従来の監視型で可。

議員の定数・報酬について

○現在の報酬では、副業がなければ食べていけないのでは。専門化し、報酬を上げるべき。

○専門化に賛成。特に若者が参加できる議会、議員のなり手の確保。報酬を増額し、「職業」として市民の多くの意見を聞くために活動していただきたい=議員のレベルアップ。

○通年議会となり、専門化は分かる。そのため報酬増も理解できる。だが、通年議会の成果は？ 外部評価は参考で、市民の評価が必要。

○議員の活動が見えない。

○財政難の折に、なぜ今更報酬の議論なのか？

時代の流れと議会の役割

時代背景	求められる議会の役割
従来 ・国等の方針により、全国一律の行政サービスが展開	・方針に沿った無駄のない行政サービスが行われているかの監視 「監視型」が中心
近年 ・地方分権により、各地域の特性を活用した、独自の行政サービスが求められている	・無駄のない行政サービスが行われているかの監視 + ・地域の特性を活かすため、行政サービスが「市民の声を十分に反映したものであるか」の監視 + ・政策は行政だけに任せず、議会も市民の声を聞き、上記が不十分な場合は議会が提言 「提言型」議会へ

議会の評価結果

26年度は「市民参加」「課題解決能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

めざす議会像

図①のとおり、国の方針に沿った全国一律の行政サービスが各地で展開されていた時代は、「方針に沿った、無駄のないサービスが提供されているか」という監視の役割が、議会に求められていました。

しかし、地方分権が進んだ現在では、独自の行政サービスが求められる時代です。

近年の議会には、従来の役割に加え、行政への「提言型議会」の転換が必要となっています。

滝沢市議会では、そのような議会の実現をめざして活動しています。

議会の改革は

市議会では、政策提言型議会の実現をめざす中で、さまざまな改革を進めています。

具体的には市民の声を聞くことを意識した「議会報告会」や「各種懇談会」の開催、**変化に対応**することを意識した「通年議会」の導入、また**論点を明確に**することを意識して、議場での質疑の際に「市当局に反問権を与えました。

これらの取組みを今後継続して実行することをルールとしたものが「議会基本条例」です。

このように、議会の役割がより重要になってきていることから、議会の仕事ぶりを自ら評価することとしました。

議会を評価する仕組み

議会評価がなぜ必要か

これからの時代は、市民の求めていることを行政が実行しているかどうか、議会自ら市民の声を聞き、監視し、場合によっては政策提言等も行う「提言型議会」をめざしていかなければなりません。

このように、議会の役割がより重要になってきていることから、議会の仕事ぶりを自ら評価することとしました。

議会を評価する仕組み

議会の評価結果

26年度は「市民参加」「課題解決能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

「監視型であれば」「課題解決能力」「意思決定能力」の4つの項目をそれぞれ5段階で評価しました。

今後進むべき方向性

おり、4つの評価項目でいずれも「3」概ね良好という結果となりました。

市民と語る議会フォーラム

～ワールドカフェで101人の活発な意見が～

市民と語る議会フォーラム

ワールドカフェでは、「滝沢市議会の現状と課題」の説明のあと「ワールドカフェ方式」での話し合いを行いました。

テーマは、「議会に期待すること（感じること）」

議員の定数・報酬についてです。

ワールドカフェ方式は、参加者が各テーブルに分かれてテーマに沿った話し合いを行い、模造紙に書き出します。

次に、各テーブル1人が残りメンバーを入れ替えます。テーブルに残った人は、後から入ったメンバーに話し合いの内容を伝えます。

続いて、後から入った人たちが、自分がいたテーブルの話し合いの内容を伝えます。こうして、1つの会場でも多くの人が、多くの意見交換ができる手法です。

議員の定数・報酬について

・若い人たちも議員になるために報酬は上げた方が良い

・現在の定数で効果的な委員会活動ができるか疑問

・議会評価で実績を示すのは良い

・現状の額は副業としてしか考えられない金額

・これからの議員は専業でないといけないのではないか

・定数を減らしすぎることは疑問

・財政面から「報酬増」の際は「定数減」とセット

・定数と報酬だけではなく、全体を見て判断が必要

・安いと思うがアップ時のリスクは大きい

・議会報告会のテーマにすべき

・市制移行の時に上げないと言っていたはず

・選挙後に改選議員が考えるべき

・追認型がまだ残っているので増の意味はない

・増は時代の流れに逆行する

・議員はボランティアでもよい

議会に期待する(感じる)こと

●激励を含んだコメント

・しだいに市民に近く感じてきた

・追認型だと思っていたが、変化していると感じた

・干支議会のアイデアは良い

●提案などを含んだコメント

・市民、議会、行政の三者で懇談会をやっては

・夜間会議、休日会議等のアイデアを

・フォーラムの内容は一般市民にも周知を

●更なる議会の努力を求めるコメント

・市民参加を増やし、もっと市民の声を聞いて

・各委員会が何をしているのかわからない

・自己評価「3」は甘く、要望しても反映されず、結果いつも同じ要望をしており、進まない